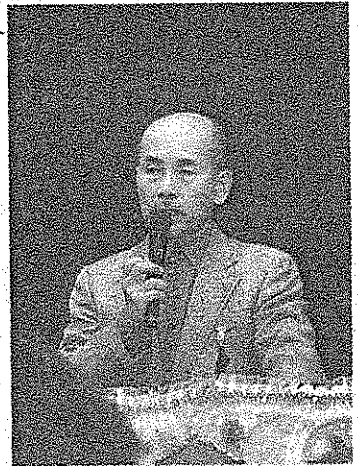


生活保護 改悪 ストップ

私の思い



1/25 海
埼玉大学名誉教授 三輪 隆さん

生活保護改悪に反対する共同声明に対し、全国各地の研究者約1150人が賛同し、前例のない運動になりました。

賛同者は社会保障や福祉の分野の研究者だけではなく、多くの賛同者が、研究対象として貧困問題を見過すことがで

きなかったからでしょう。学生が「奨学」ローンで追われて「勉強どころではない」という現実から動かされた人もいました。

声明は「セーフティネットを切り縮めることは、自由で民主的な社会の基盤を掘り崩すものといわざるを得ない。これは生活困窮者だけの問題ではなく、すべての人々の生存権に対する深刻な攻撃である」と強調

しています。

政府が国家の「安全保障」に力を入れるとき、「社会保障」の破壊が行われる傾向があります。両者はワンセットです。

安倍政権が成立をねらう秘密保護法案は、国民の目・耳・口をふさいで基本的人権を踏みにしり、日本を海外で戦争できる国につくりかえるものです。同時に、生活保護法改悪で、生活保護制度を機能不全に陥らせて、憲法25条が保障する生存権を空洞化しようとしています。

秘密保護法の成立を阻止するためにも、生活保護改悪法案は廃案しかありません。

秘密保護法へつつながる